



第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	3	『くらし』を守る・快適にする	施策に関連するSDGs							①防災体制の充実 ◇大災害発生時に迅速な地域復興につなげることができるよう、事前の計画づくりや庁内連携体制を構築します。 ◇避難所・備蓄拠点等の整備、庁内緊急出動体制の強化を図り、災害に備えます。 ◇府内外の市町村や企業、関係団体等との防災協定の締結を促進します。 ◇SNSの活用等、市民に対する防災情報の伝達手段の拡充を行います。 ②災害に強い地域づくり ◇市民の防災意識を高めるため、各種講座や広報等による啓発、市民と行政との協働による防災訓練等の充実を図ります。 ◇自主防災組織のさらなる設立支援や、その活動を支援するとともに、地域における避難行動要支援者の個別避難計画作成を促進します。 ◇民間住宅の耐震化を促進するため、市民の周知啓発を図ります。			
施策	11	防災											
目指すまちの姿	災害による被害を地域の支え合いや民間企業等との連携で最小化し、誰もが安全・安心に暮らし続けられるまち 発生が懸念される大規模地震や津波、豪雨等の自然災害による被害を防災・危機管理体制の充実や地域住民同士の支え合い・助け合い、企業等との連携により最小限におさえるなど、誰もが地域で安心して暮らすことができるまちづくりに取り組みます。												
施策に関する成果指標	指標項目			基準値 (R3)		目標値 (R14)		備考					
	自主防災組織の組織率			62%		80%		組織地区の世帯按分					
	進捗状況												
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		R13	R14	備考
	目標	65	65	68	68	71	71	74	74		77	80	
	実績	63.3	63.7										
達成率	97.4%	98.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%		
達成度	A	A											
掲載事業一覧【所幹部】									所管部局評価				
3-11-① 防災備蓄事業【行政経営部】 3-11-①、② 防災情報伝達推進事業【行政経営部】 3-11-② 自主防災組織強化事業【行政経営部】 3-11-② 安全・安心住まいづくり支援事業【都市整備部】									【行政経営部】 取組① 重要11品目の備蓄数量維持のための更新を行った。これまでの災害でみられた避難所等での課題を踏まえ、適切な備蓄品の管理に努め、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりに努める。防災用広報システムの補助的手段、多様化手段として、防災アプリを導入した。防災アプリの活用を推進し、市民に対する防災情報の伝達手段の拡充を行い、防災・危機管理体制を充実させ、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりに努める。 取組② 新たに自主防災組織が1団体設立された。自主防災組織の設立支援、個別計画の作成を促進し、地域住民同士の支えあい、助けあいで、誰もが地域で安心して暮らすことができるまちづくりに努める。 【都市整備部】 取組② 住宅耐震化の重要性を周知するためフォーラムを開催した。継続して耐震化の重要性の周知啓発をより一層推進していくことに努める。				

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 11 防災		新規		担当課名	危機管理課		指標名 備蓄品目数												備考
○ 主な取組 ① 防災体制の充実		継続	○	会計名	一般会計		R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位												
事務事業名 防災備蓄事業		ソフト	○	予算	款項目	2 1 9	目標 22 22 23 23 24 24 25 25 26 27 品目												
事業に関連するSDGs		ハード			細目	12-防災備蓄事業	実績 21 21												
<事業概要> 大規模災害発生時に被災した市民の避難所生活をサポートするために必要となる食糧等について、大阪府地震被害想定に基づく備蓄を行う。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)		達成率 95.5% 95.5% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%													
				災害対策基本法、泉南市防災計画		達成度 A A													

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 ・備蓄食糧の更新を行った。(4,100食分) ・備蓄飲料水の更新を行った。(500mlペットボトル、1,512本) ・備蓄用粉ミルク、液体ミルクの更新を行った。 ・各種イベントにて、有効活用として、備蓄品の配布と啓発活動を行った。 ・伝市メール講座にて、家庭内での備蓄についての啓発活動を行った。(11回)				令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定											
事業の財源 決算額 1,046千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 166ページ 一般財源 1,046千円															
職員数/人件費 正職員 0.20人 正職員以外のその他職員 0.00人 1,809千円															

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 備蓄数を維持するために更新期限を迎える備蓄品を購入した。 災害時の孤立等を想定した、備蓄拠点の配置と備蓄品の分散について検討する必要がある。 府民の防災意識に関するアンケート調査では、備蓄を行っている家庭の割合が4割程度であった。そのため、本市においても家庭内での備蓄を推進していく必要がある。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 令和6年度に改定された大阪府の備蓄計画をもとに、備蓄品の見直しを行う。 分散備蓄を行うために、備蓄拠点を検討する。 家庭内での備蓄を推進するため、啓発講座を実施し、さらなる周知を行う。		Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考	
				事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		事業の方向性と取組の内容 大阪府の備蓄計画の更新に従い備蓄を行い、備蓄場所の選定等を行うことで、食糧等を遅滞なく被災した市民に届け、避難所生活をサポートする。 また、家庭内での備蓄についての啓発を継続していくことで、大規模災害発生時にサポートが必要となる市民を少なくする。			

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 11 防災		新規		担当課名	防災アプリのダウンロード累計数												備考		
○ 主な取組 ① 防災体制の充実 ② 災害に強い地域づくり		継続	○	会計名	R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位												令和6年4月本格運用開始 令和5年区長等のダウンロード実績		
事務事業名	防災情報伝達推進事業	ソフト	○	款項目	2	1	9	目標										件	
<事業概要>	インターネット上のポータルサイト「おおさか防災ネット」で府民に対し防災に関する様々な情報を提供している。また、防災気象情報や避難所の開設・閉鎖の情報をリアルタイムで知ることができるメールを配信している。防災用広報システム、防災アプリを活用し、災害時の情報伝達を行う。	ハード	○	細目	13-防災情報伝達推進事業														
		市単独		(関係法令・市条例・計画等)															
		災害対策基本法、泉南市防災計画																	
				実績	427	4,891													
				達成率	427.0%	97.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
				達成度	A	A													

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容	防災情報伝達推進事業 ・防災用広報システムの補助的手段として防災アプリを導入した。 ・防災用広報システムを用いて、Jアラートの訓練放送(3回)、南海トラフ臨時情報や特殊詐欺注意等の臨時放送(5回)を実施した。 ・上記の防災用広報システムの放送を電話案内サービスにより配信した。(年間利用回数67回)		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定													
事業の財源	決算額	26,465千円	国庫支出金	0千円												
			府支出金	0千円												
			市債	11,200千円												
			その他	825千円												
	決算書ページ	166ページ	一般財源	14,440千円												
職員数/人件費	正職員	0.80人	正職員以外の その他職員	0.00人	7,236千円											

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容	<成果・課題>	令和7年度の改善の取組	Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考
	Check 3	防災用広報システムの補助的手段として導入していた電話案内サービスは同時接続に限りがあり、災害時の情報伝達に課題があった。補助的手段を拡充するため、防災アプリを導入した。防災用広報システムによる放送だけでなく、電話案内サービス、防災アプリでも防災情報を入力できるようになった。市の情報配信のプラットフォームとなっているウェブサイトと防災アプリを連携し、利便性を向上させることができた。また、防災用広報システムについては気候などの外的要因により、放送内容の音達範囲に影響が現れる。	<改善内容> 老朽化した既存のシステムを施設管理者との調整を行いながら、安全第一で更新を進める。市内の防災講座等や広報せんなんへの折込チラシなどを使い、防災情報に関する周知活動を行い、利便性を周知することで防災アプリ利用者の増加につなげる。	事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	更新した防災用広報システムでの防災情報伝達を強化し、適正に維持管理する。また、防災用広報システムの補助的手段である防災アプリ、電話案内サービスの周知活動を実施することで、市民の防災情報入手手段の多様化を図る。
				1 現状維持		
				2 見直して継続	○	
				重点化		
				手段改善		
				効率化(コストダウン)		
				規模縮小		
				事業統合		
				3 休止・廃止		
				4 完了		

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標																
○ 施策 11 防災		新規		担当課名	危機管理課		指標名	自主防災組織の組織率										備考		
○ 主な取組 ② 災害に強い地域づくり		継続	○	会計名	一般会計		目標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	組織地区の世帯按分	
事務事業名 自主防災組織強化事業		ソフト	○	款項目	2	1	9	実績	63.3	63.7								80		%
事業に関連するSDGs		ハード		細目	15-自主防災組織強化事業		達成率	97.4%	98.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
<事業概要> 大規模災害が発生した場合、行政の能力には限界があるため、自主防災組織の活動は必要不可欠である。自分たちの地域は自分達で守るという「自助」「共助」の推進を図るため、新たな自主防災組織の結成及び既存組織の充実を図る。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)		達成度	A	A												
災害対策基本法、泉南市防災計画																				

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 ・樽井防災コミュニティセンターの防災目的利用回数(30回) ・自主防災組織連絡協議会の開催(4回) ・リーダー育成研修(1回) ・自主防災組織における防災訓練実施回数(14回) ・避難行動要支援者名簿提供団体数(12団体) ・自主防災組織の新規結成数(1団体)		事業の財源 決算額 5,887千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 5,587千円 決算書ページ 167ページ 一般財源 300千円		職員数/人件費 正職員 0.60人 正職員以外のその他職員 0.00人 5,427千円		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 自主防災組織での訓練を促進するために、訓練に伴う事故を保険対象とした。訓練実施団体の固定化が進んでおり、促進方法の見直しを含めた検討が必要である。 新規設立の自主防災組織に対して、資機材購入の補助を行った。自主防災組織が未結成の地域に対して、設立支援を行う必要がある。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> 各自主防災組織での会議でも樽井防災コミュニティセンターの利用を促し、防災目的の利用回数の増加につなげる。 伝市メール講座実施に合わせて、防災訓練の実施を提案するなどして、新たな団体での訓練実施につなげる。 自主防災組織未結成地区に対して、組織体制の構築案や規約案の説明を行うことで、設立支援を行う。	Action 4 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性と取組の内容 継続して、樽井防災コミュニティセンターの適切な運営、自主防災組織活動の活性化支援に努め、自分たちの地域は自分達で守るという「自助」「共助」の推進を図る。	備考
----------------------	--	--	---	---	----

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標																
○ 施策 11 防災		新規		担当課名	耐震診断補助金交付決定累計戸数														備考	
○ 主な取組 ② 災害に強い地域づくり		継続	○	会計名	R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位															
事務事業名 安全・安心住まいづくり支援事業		ソフト	○	予算	175 182 192 202 212 222 232 242 252 262 戸															
事業に関連するSDGs		ハード		款項目	実績 172 182															
<事業概要> 旧耐震基準(昭和56年5月31日以前)で建築された住宅の所有者が既存民間耐震診断、耐震改修補助金交付要綱に基づいて行った耐震診断や改修(設計)に対して補助金を交付する。住宅耐震化の重要性を周知するためフォーラム等の講演会、防災に関するイベント等により普及啓発活動を行う。		03-安全・安心住まいづくり支援事業		細目		達成率 98.3% 100.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%														
		市単独		(関係法令・市条例・計画等)		達成度 A A														
		泉南市住宅、建築物耐震改修促進計画																		

令和6年度 事務事業実績 Do 2															
主な事業内容 1 補助金交付事業 耐震診断補助の実施 (予算10件、実施10件) 耐震改修補助の実施 (予算2件、申込み5件、実施2件) 2 フォーラム等による普及啓発事業 個別相談会・展示会の開催 (5月に開催、24組33名)		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定													
事業の財源 決算額 2,071千円 国庫支出金 1,000千円 府支出金 325千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 275ページ 一般財源 746千円															
職員数/人件費 正職員 0.11人 正職員以外の その他職員 0.00人 950千円															

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価																	
事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 令和6年1月に能登半島地震があったため、市民フォーラムの参加者数及び耐震化の補助申請数については令和5年度より増加した。また、改修補助の枠が2件のところ申請が5件あったため、改修補助の枠見直しが必要である。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 耐震改修補助の枠を2件から3件にし、住宅耐震化を促進していく。また耐震改修促進計画について、国の方針及び大阪府の計画の改正等を踏まえ、計画内容及び進捗状況等を検証した上で、耐震化率の目標や普及啓発方法等について見直しを行う。		Action 4 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性と取組の内容 見直しを行った耐震改修促進計画に基づき、より一層の住宅耐震化を促進していく。								備考	

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	3	『くらし』を守る・快適にする	施策に関連するSDGs								①防犯対策の充実 ◇地域の関係団体等との連携による子どもの見守り活動等のさらなる支援を行うとともに、防犯カメラ及び防犯灯の設置、適切な維持管理を行うための仕組みに取り組みます。 ◇市民一人ひとりの防犯意識の向上を図るとともに、地域の自主防犯活動を支援します。 ②交通安全対策の推進 ◇地域の関係団体等との連携により、危険箇所の点検等、通学路の安全対策の強化を図ります。 ◇歩行者優先社会づくりに向けた啓発や、交通安全施設の整備等、歩行者の安全確保を図ります。 ③消費者トラブル対策の推進 ◇市民一人ひとりの消費者トラブルの意識の向上を図るとともに、関係機関との連携により、見守りネットワークの構築に向けて取り組みます。 ◇消費生活相談員や弁護士、行政書士等の専門家による相談体制の充実を図るとともに、消費生活に関する講座及び情報発信、啓発を行います。		
施策	12	防犯・交通安全・消費者トラブル対策											
目指すまちの姿	犯罪と交通事故が少なく、子どもから高齢者まで安心して生活を送れるまち 全国的に多様化・凶悪化する犯罪や消費者問題、交通事故等から、子どもから高齢者まで、一人ひとりの生命と暮らしを守り、被害に遭う人を最小限におさえることができる、市民、地域、行政の連携による安全・安心なまちづくりに取り組みます。												
施策に関する成果指標	指標項目		基準値(R3)		目標値(R14)		備考						
	刑法犯罪種及び手口別発生市区町村別認知件数		314件		250件		大阪府犯罪統計						
	進捗状況												
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13		R14	備考
	目標	314	307	300	293	286	279	272	265	258		250	
	実績	344	349										
達成率	91.3%	88.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
達成度	A	A											
掲載事業一覧【所幹部】											所管部局評価		
3-12-① 防犯事業【福祉保険部】 3-12-② 交通安全施設等整備事業【都市整備部】 3-12-③ 消費生活センター運営事業【市民生活環境部】											【福祉保険部】 取組① 防犯カメラ設置を促進し、防犯の向上に取り組むとともに修繕等維持管理の取組に努める。引き続き、防犯委員会と連携し、防犯活動支援に努める。 【都市整備部】 取組② 交通事故の危険性が高いと考慮される箇所において、カーブミラー等、有効となる交通安全施設の整備を推進する。通学路については、教育委員会と連携し、グリーンベルトの設置等、児童の安全確保に取り組んでいく。 【市民生活環境部】 取組③ 消費者講座の実施、啓発グッズやチラシの配布を行うとともに、市発信のSNS上においても消費生活トラブルに関する注意喚起を行った。 今後も関係機関と連携し、消費生活トラブルの未然防止に向けた啓発活動を行っていく。		

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標													
○ 施策 12 防犯・交通安全・消費者トラブル対策		新規		担当課名	指標名 刑法犯罪種及び手口別発生市区町村別認知件数										備考		
○ 主な取組 ① 防犯対策の充実		継続	○	会計名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	大阪府犯罪統計	
事務事業名 防犯事業		ソフト		一般会計	目標	314	307	300	293	286	279	272	265	258	250		件
事業に関連するSDGs		ハード	○	款項目	実績	344	349										
<事業概要> 防犯委員事務局運営等防犯に関する事務及び防犯カメラの設置管理を行う。		市単独	○	細目	達成率	91.3%	88.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		(関係法令・市条例・計画等)			達成度	A	A										

令和6年度 事務事業実績 Do 2

<p>主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯委員事務局運営 月1回定例会開催、必要費用等会計処理、行事等予定調整 ・歳末夜警市長及び防犯委員長同伴 ・安全なまちづくり推進委員会事務局運営 ・総会開催、安全大会実施、会計処理 ・防犯カメラを20台設置 ・設置委員会の開催、設置場所確認、NTT、関電等電柱所有者調査、設置可否判定調査、設置各地区区長説明、防犯カメラ映り込み同意依頼、設置電柱地地所有者同意依頼、カメラ購入入札、業者調整、業者を通じて工事許可、道路占用許可等申請、電柱共架契約、電気契約、画角等警察同行の上調整、電柱及び電気使用料支払い 				<p>令和8年度 実施計画 →令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定</p>																							
<p>事業の財源</p> <table border="1"> <tr> <td>決算額</td> <td>国庫支出金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">9,973千円</td> <td>府支出金</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7,656千円</td> </tr> <tr> <td>決算書ページ</td> <td>201ページ</td> <td>一般財源</td> <td>2,317千円</td> </tr> </table>		決算額	国庫支出金	0千円	9,973千円	府支出金	0千円	市債	0千円	その他	7,656千円	決算書ページ	201ページ	一般財源	2,317千円												
決算額	国庫支出金	0千円																									
9,973千円	府支出金	0千円																									
	市債	0千円																									
	その他	7,656千円																									
決算書ページ	201ページ	一般財源	2,317千円																								
<p>職員数/人件費</p> <table border="1"> <tr> <td>正職員</td> <td>0.20人</td> <td>正職員以外の その他職員</td> <td>0.00人</td> <td>1,809千円</td> </tr> </table>		正職員	0.20人	正職員以外の その他職員	0.00人	1,809千円																					
正職員	0.20人	正職員以外の その他職員	0.00人	1,809千円																							

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

<p>事務事業の改善内容</p> <p>Check 3</p>		<p><成果・課題></p> <p>市の防犯施策において、防犯カメラ設置目標台数を150台と設定し、令和6年度は20台の防犯カメラを設置した。防犯カメラを設置することで、犯人の検挙等の防犯に繋がっている一方、電気代、電柱使用料等費用は増加することとなる。</p> <p>また、設置済みの防犯カメラの修繕等費用もかさんでいくことが懸念されている。今後、150台の故障等把握も困難であり、防犯カメラの更新も考えなければならず、管理に関しても課題がある。</p>	<p>令和7年度の改善の取組</p> <p><改善内容></p> <p>防犯カメラの管理について、今後の方針を検討する必要がある。</p> <p>修繕台数の推移や警察署からの映像提供依頼件数等について、ここ数年の実績把握に努める。</p>	<p>Action 4</p> <p>事業の方向性</p> <p>1 現状維持 ○</p> <p>2 見直して継続</p> <p>重点化</p> <p>手段改善</p> <p>効率化(コストダウン)</p> <p>規模縮小</p> <p>事業統合</p> <p>3 休止・廃止</p> <p>4 完了</p>	<p>令和8年度以降の事業の方向性と取組</p> <p>事業の方向性と取組の内容</p> <p>引き続き防犯カメラを増設し、目標台数の150台設置に向け、取り組む。</p> <p>事業の初期に設置した防犯カメラについては、耐用年数を経過していることから、老朽化対策として、適切な修繕を行うこととあわせて、更新に係る計画・方針を策定する。</p>	備考
---------------------------------	--	--	---	--	--	----

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標														
○ 施策 12 防犯・交通安全・消費者トラブル対策		新規		担当課名	道路課											備考		
○ 主な取組 ② 交通安全対策の推進		継続	○	予算	会計名		一般会計											
事務事業名 交通安全施設等整備事業		ソフト			科目	7	2	2										
事業に関連するSDGs		ハード	○	細目	04-交通安全施設等整備事業													
<事業概要> カーブミラー等交通安全施設の整備を推進し、交通安全対策に寄与する。		市単独		(関係法令・市条例・計画等)														
		道路法、泉南市通学路交通安全プログラム																
		指標名	当該年度執行率(事業費ベース)											備考				
		目標	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位					
		実績	100	100									100	%				
		達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
		達成度	A	A														

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 1 交通安全施設等整備工事 2件実施 ・カーブミラー設置 ・グリーンベルト設置 ・路面表示(新設・塗り直し) 2 交通安全施設等修繕 ・カーブミラー修繕(ミラー交換等) ・防護柵修繕															
事業の財源 7,819千円		国庫支出金	0千円												
		府支出金	0千円												
		市債	0千円												
		その他	0千円												
決算書ページ 268ページ		一般財源	7,819千円												
職員数/人件費 正職員 1.03人 正職員以外の その他職員 0.00人		9,316千円													

令和8年度 実施計画
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 例年、交通安全施設等整備工事を実施しているが、路面標示等の経年劣化が進んでおり、安全性に課題を有している状況にあるため、早急に施設を更新し、交通安全対策の促進を図る必要がある。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> ・通学路の安全性を確保するため、泉南市通学路交通安全プログラムを実施し、教育部局と連携しながら優先順位を整理し、グリーンベルトの更新や新たな交通安全施設の設置など、交通安全対策を講じる。 ・点検により特に劣化が進んでいる施設の更新を図る。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組	事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 路面標示等の施設の劣化が進んでおり、インフラを利用する市民の安全・安心を確保するため、さらなる整備コストの増加が見込まれる。	備考
----------------------	--	---	---	-------------------------------	---	--	----

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標													
○ 施策 12 防犯・交通安全・消費者トラブル対策		新規		指標名	消費生活相談の解決率(助言、情報提供、紹介及び斡旋による解決)										備考		
○ 主な取組 ③ 消費者トラブル対策の推進		継続	○	会計名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名 消費生活センター運営事業		ソフト	○	款項目	目標	90.5	91.0	91.5	92.0	92.5	93.0	93.5	94.0	94.5	95.0		%
事業に関連するSDGs		ハード		細目	実績	91.5	95										
<事業概要> 消費者トラブルに対して、専門の相談員による消費生活相談を実施するとともに、消費者被害を未然に防止するため、泉南市消費生活センターの機能及び運営体制の強化を図る。		市単独		(関係法令・市条例・計画等)													
				達成率 101.1% 104.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%													
				達成度 A A													

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 1. 消費生活相談の実施(315件) 他機関へ紹介 4件 助言(自主交渉)183件 その他情報提供 54件 斡旋解決 42件 斡旋不調 6件 処理不能 6件 処理不要 16件 その他 4件 2. 啓発グッズ及びチラシ制作 啓発グッズ 2,000個、チラシ配布 2,039枚				令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定										
事業の財源 決算額 1,277千円 国庫支出金 0千円 府支出金 1,131千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 261ページ 一般財源 146千円														
職員数/人件費 正職員 0.60人 正職員以外の その他職員 0.00人 5,427千円														


評価

方向性


令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 消費者が抱える不安は、相談員へ相談することによって、一定軽減されると考えられるため、相談数に比例して成果は生じている。 電話による勧誘、テレビショッピング、インターネットやスマートフォンによる勧誘など日々さまざまなトラブルが発生していることから、解決へ導くため、消費生活センターの設置を継続させることが重要である。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 消費者講座の実施や小中学校・各種行事におけるチラシ・グッズの配布により、啓発を強化する。 インターネットを利用した通信販売等における注意点を主とした消費者講座を消費者月間である5月に開催し、市民に対するの注意啓発を図る。		Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考	
				事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		事業の方向性と取組の内容 引き続き、5月の消費者月間における講座の開催や、ウェブサイトやSNS等での情報発信を行っていく。			

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	3	『くらし』を守る・快適にする	施策に関連するSDGs										①環境保全の推進 ◇ため池や河川の改修・保全や管理を適切に行います。 ◇市民やNPO団体等と協働し、里地里山の保全と活用を推進します。 ◇ごみの収集方法や収集コースの見直しを行い、ごみ収集を適切に行います。 ◇環境調査の実施や市民・企業と協力した公害の未然防止を図るとともに、水質保全のための取組を推進します。 ②脱炭素社会の実現 ◇ごみの排出抑制に向け、市民が環境にやさしい消費行動に取り組めるよう、啓発を図ります。 ◇3R(廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化)の普及を図るとともに、資源ごみの分別の徹底を図ります。 ◇企業等と連携しながら、ごみ処理場の効率的な運転と適切な維持管理を行います。 ◇自動車から出る二酸化炭素排出量削減のため、公用車の電動自動車導入や市民に対する自転車活用を推進します。 ◇公共施設への再生可能エネルギーの導入や市民への啓発等、利用促進を図ります。
施策	13	環境保全・脱炭素・エネルギー											
目指すまちの姿	ごみの排出が抑制され、河川や森林に配慮した環境にやさしいまち												
施策に関する成果指標	指標項目				基準値 (R3)				目標値 (R14)		備考		
	一人一日あたりのごみ排出量(家庭系ごみ)				464g				414g				
	進捗状況												
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考	
	目標	458	450	443	437	430	428	423	420	417	414		
	実績	436	427										
	達成率	105.0%	105.4%										
達成度	A	A											
掲載事業一覧【所幹部】												所管部局評価	
3-13-① 公害防止事業【市民生活環境部】 3-13-① ごみ収集事業【市民生活環境部】 3-13-① 林業振興事業【市民生活環境部】 3-13-② 車両管理事業【総務部】 3-13-② 総合福祉センター改修事業【福祉保険部】												【市民生活環境部】 取組① 環境保全の推進については、市民や企業とともに取り組んでいく必要があるため、各取組を周知し、泉南市地球温暖化対策実行計画及び一般廃棄物(ごみ)処理基本計画等を踏まえながら、推進していく。 【総務部】 取組② 年次の車両更新計画に基づき、電気自動車(ハイブリッド車含む)に変更できる車種について、順次更新を行った。車両の一括管理の導入により、車両台数の適正化について検討を進める。 【福祉保険部】 取組② 総合福祉センター改修事業にESCO事業を採用し、省エネルギー改修を実施し、包括的エネルギー管理計画により環境負荷の軽減と光熱水費の節約を図っている。 特にエネルギー消費が多かった空調・照明・給湯を中心に省エネ改修を行い、効率的な省エネを図った。 また、地域レジデンス・脱炭素化を同時に実現する公共施設への自立分散エネルギー設備等導入推進事業として、災害時にボランティア活動拠点として位置づけられた本施設に太陽光発電設備と蓄電池を導入することで、平時の温室効果ガス排出抑制に加え、災害時にはボランティア活動拠点への電力供給を図り機能維持強化を図った。	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 13 環境保全・脱炭素・エネルギー		新規		担当課名	環境整備課		指標名 BODの数値												備考
○ 主な取組 ① 環境保全の推進		継続	○	会計名	一般会計		R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位												BOD:生物化学的酸素要求量(水中の有機物の代表的な汚染指標)
事務事業名 公害防止事業		ソフト	○	予算	款項目	4 1 8	目標値												
事業に関連するSDGs		ハード			細目	01-公害防止事業	実績												
<事業概要> 公害に係る苦情処理及び騒音・振動の規制と公害発生施設の監視及び指導を行う。また、市内を流れる河川の水质調査等の分析を定期的に行い、環境の異常をいち早く察知できるようにする。		市単独		(関係法令・市条例・計画等)		達成率													
		環境基本法等各種環境法令		達成度															

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 1.令和6年度 騒音・振動苦情対応件数11件、野焼き対応件数13件 2.自動車騒音的評価について、例年からの評価に変更なし。市内主要河川の水质分析について、市内8ヶ所で水质分析を実施。その内、水质監視対象として大阪府が管理する男里川の上流にあたる金熊寺川上流のBODを監視対象とし、年2回の測定値、0.8(R6.9測定)、1.2(R7.3測定)を平均した結果1.0であった。 3.ダイオキシン類について、俄池公園(0.084pg-TEQ/g-dry)及び男里公園(50pg-TEQ/g-dry)で測定した結果環境基準1000pg-TEQ/g-dryを下回っていた。 4.新家上村公園及び馬場大発1号公園にて、アスベスト大気汚染濃度を測定。いずれも総繊維数濃度下限値0.056(本/L)未満であった。															
事業の財源 決算額 1,602千円 国庫支出金 0千円 府支出金 250千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 245ページ 一般財源 1,352千円															
職員数/人件費 正職員 0.55人 正職員以外のその他職員 0.00人 4,975千円															

令和8年度 実施計画
 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定



令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 令和6年度は成果指標の河川の監視対象箇所のBOD値の達成度はA1になったが、年2回の測定結果によるもので、通年で基準を達成しているかを確認できない。他の項目の公害測定結果は問題なかった。騒音・振動、野焼きの苦情は、ほぼ例年どおりの件数であった。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 成果指標の河川のBODの数値維持について、定期的に河川への異常な流入がないかパトロールを行うとともに特定施設からの排水指導権限のある大阪府と連携を密にして監視を行う。また騒音・振動・野焼きの苦情に関しては、現地で原因者に指導する際、再発回数が減少するように指導を工夫していく。		Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考	
				事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		事業の方向性と取組の内容 成果指標の河川のBOD値を維持するために、市内に流れる河川の監視対象地点を継続的に水质分析を行うことで、監視地点の水质状況の変化を把握し、周辺地域からの異常な水の流入の可能性がないかを監視していく。			

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする ○ 施策 13 環境保全・脱炭素・エネルギー ○ 主な取組 ① 環境保全の推進		事業区分 新規 〇 担当課名 清掃課 継続 〇 会計名 一般会計 ソフト 〇 予算 科目 4 2 1 ハード 〇 細目 02-ごみ収集事業 市単独 〇 (関係法令・市条例・計画等) 泉南市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例		事務事業に関する活動指標 指標名 1人1日あたりのごみ排出量(家庭系ごみ) 備考 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 目標 458 450 422 415 408 402 396 390 384 378 g ※目標値令和7年度については、一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の基準年度を令和2年度から令和5年度に変更(年1.57%減)にて算出。 実績 436 427 達成率 105% 105% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 達成度 A A													
--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 ○市内全域の家庭ごみの収集運搬を行う(保有台数:2tハイカー車9台、3tハイカー車4台、軽四ダンプ7台、2tダンプ1台、公用車1台) ○生ごみ減量等処理機器購入補助金交付制度(11台) ○小学校、幼稚園等への出前授業による環境教育(小学校3校) ○広報(18タイトル)、ウェブサイト(常時)での各種啓発活動 ○「不用品リサイクル回収ボード」での不用品交換制度 ○有価物集団回収報償金交付制度(活動団体数74/回収量425t) ○市公式LINEの機能拡張に伴い、現行のごみ収集日配信システムを市公式LINEに切り替え		事業の財源 決算額 131,282千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 247ページ 一般財源 131,282千円		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定													
職員数/人件費 正職員 9.41人 会計年度職員 任期付職員 8.42人 115,572千円																	

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 <成果・課題> 環境教育・啓発活動を通じて、ごみの発生抑制と分別、適正な排出方法について周知を行っている。特に食品ロス及び海洋プラスチック問題については、小学校等での出前授業にて重点的に取り組んでおり、広報や市ウェブサイトでも同様に啓発を行っている。 生ごみについても減量対策の一環として、電気式生ごみ処理機器の購入者に対して補助金を交付している。生ごみ処理機器の購入補助金申請については、スマート申請システムでもできるよう手続きを行った。 そして、資源の有効活用を推進し、ごみ問題に対する市民の意識向上に資するため有価物集団回収を行う団体に対して報償金を交付している。 また、市公式LINEでの収集日お知らせ配信を開始した。令和6年度の成果指標での目標数値450gに対して実績値は427gと目標が達成できたので、引き続きごみの減量施策の推進に取り組む。 Check 3		令和7年度の改善の取組 <改善内容> ・さらなる2R(リユース、リデュース)の推進のため、民間事業者2社とのリユースに関する協定を締結する。 ・スマート申請システムでの生ごみ減量等処理機器購入補助金申請の受付を開始する。 ・メールでの粗大ごみ申込受付を開始する。		Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 〇 事業の方向性と取組の内容 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		備考	
---	--	---	--	---	--	----	--

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標														
○ 施策 13 環境保全・脱炭素・エネルギー		新規		担当課名	産業振興課		指標名 森林整備箇所数										備考	
○ 主な取組 ① 環境保全の推進		継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	「泉南市森林整備に係る実施計画」に沿った森林整備(危険木の撤去等)を実施。
事務事業名 林業振興事業		ソフト	○	予算	款項目	5 2 1	目標	1	1	1	1	1	1	1	1	1	箇所	
<事業概要> 市が管理する林道の除草及び修繕等の維持管理を行う。また、防災上等の理由から早期に整備が必要な森林について、危険木の撤去・倒木の除去等の森林整備を行う。		ハード			細目	01-林業振興事業	実績	1	1									
事業に関連するSDGs		市単独		(関係法令・市条例・計画等)			達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
11 持続可能な都市づくり 15 生態系の持続可能性 13 気候変動対策				泉南市森林整備に係る実施計画			達成度	A	A									

令和6年度 事務事業実績 Do 2			
主な事業内容		1 維持管理 ・林道等の清掃除草等 修繕(1箇所)・除草(2箇所) 2 森林整備 ・危険木撤去(1箇所・94本)	
事業の財源		決算額	3,040千円
		国庫支出金	0千円
		府支出金	102千円
		市債	0千円
		その他	2,658千円
職員数/人件費		決算書ページ	258ページ
		正職員	0.04人
		正職員以外の その他職員	0.00人
		一般財源	280千円
			362千円

令和8年度 実施計画
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価			
事務事業の改善内容	<成果・課題> ・「泉南市森林整備に係る実施計画」に沿った計画的な森林整備(危険木の撤去等)を実施することで、市民の安全確保につながった。 ・近年、台風や大雨による突発的な自然災害が急増しているため、林道災害や森林整備箇所が増加が見込まれる。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> 引続き、「泉南市森林整備に係る実施計画」に沿った森林整備(危険木の撤去等)を実施するとともに、林道等の巡回を行い、早期補修等を実施することで災害防止に努める。「現実施計画」が令和3年度～令和7年度までの5か年計画となっているため、令和7年度にて更新を予定する。	Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組
	Check 3		事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直しで継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了
		事業の方向性と取組の内容 新たな「泉南市森林整備に係る実施計画」を策定し、森林整備(危険木の撤去等)を継続する。	
		備考	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標																	
○ 施策 13 環境保全・脱炭素・エネルギー		新規		担当課名	総務課			指標名 公用車更新時における電気自動車の導入率													備考
○ 主な取組 ② 脱炭素社会の実現		継続	○	予算	会計名	一般会計			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位	電気自動車(ハイブリッド車含む)の全体に占める割合。箱バンタイプの軽自動車等においては、ハイブリッド車の設定がなく当面ガソリン車への更新を行う。	
事務事業名 車両管理事業		ソフト			款項目	2	1	8	目標	16	16	17	17	18	18	19	19	20	21		%
事業に関連するSDGs		ハード	○	細目	03-車両管理事業			実績	15	21											
<事業概要> 総務課管理公用車の維持管理をおこなうとともに、更新時には計画的な電気自動車(ハイブリッド車含む)の導入を進める。		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)			達成率	91.9%	131.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
泉南市車両管理規程					達成度	A	A														

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容	1 公用車管理事業(自動車61台 原動機付自転車6台)																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・法定点検・車検手続事務 ・共済加入事務 ・事故対応事務 ・車両の更新(2台購入・2台廃車) 																		
事業の財源	2 私有自動車登録事務																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・私有自動車共済登録事務 																		
職員数/人件費	3 安全運転管理事務																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・安全運転管理者事務 ・安全運転講習事務(年1回開催) 																		
決算額	国庫支出金	0千円																	
13,133千円	府支出金	0千円																	
	市債	0千円																	
	その他	0千円																	
決算書ページ	162ページ	一般財源	13,133千円																
正職員	0.30人	正職員以外の その他職員	0.00人																

令和8年度 実施計画
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容	<成果・課題>		令和7年度の改善の取組		Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組				備考
	<p>公用車の管理事業においては、法定点検、車検手続事務、共済加入事務、事故対応事務等予定通りの成果であった。</p> <p>車両の更新については予定していた2台を新規購入し、老朽化が進んだ2台を廃車した。</p> <p>新規購入車のうち1台はハイブリッド車であるが、もう1台は箱バンタイプのため、ハイブリッド車がなく、ガソリン車の対応となった。</p> <p>電気自動車(ハイブリッド含む)は13台となり、導入率は、21.3%となった。</p> <p>その他、私有自動車共済登録事務や安全運転管理者事務においても特に問題はなく安全運転講習事務(年1回開催)も予定通り開催した。</p> <p>課題として、継続的に車両を更新していくにあたり、車両管理のさらなる効率化が必要である。</p>		<p><改善内容></p> <p>車両管理の効率化を進めるため、紙ベースの申請書を廃止し、業務端末を活用した形式に切り替えた。</p> <p>また、民間提案制度を活用し、車両の一括管理の募集提案を実施した。</p>		<p>事業の方向性</p> <p>1 現状維持</p> <p>2 見直して継続</p> <p>重点化</p> <p>手段改善 ○</p> <p>効率化(コストダウン)</p> <p>規模縮小</p> <p>事業統合</p> <p>3 休止・廃止</p> <p>4 完了</p>		<p>事業の方向性と取組の内容</p> <p>今後も職員の安全面等を考慮し、環境負荷に配慮しながら電気自動車(ハイブリッド含む)の導入を推進していく。</p> <p>また、車両の一括管理の導入により、車両台数のさらなる適正化を進める。</p>			
Check 3										

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標																		
○ 施策 13 環境保全・脱炭素・エネルギー		新規	○	担当課名	長寿社会推進課					指標名					備考							
○ 主な取組 ② 脱炭素社会の実現		継続		会計名	一般会計					省エネルギー量の割合					毎年、算出される省エネルギー量の割合を指標とする。							
事務事業名 総合福祉センター改修事業		ソフト		款項目	3	1	6	目標	R5	R6	R7	R8	R9	R10		R11	R12	R13	R14	単位		
<事業概要> 総合福祉センターにおけるESCO事業及び内装工事		ハード	○	細目	05-総合福祉センター改修事業					実績	28											%
		市単独	○	(関係法令・市条例・計画等)					達成率	106.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
								達成度	A													

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容		ESCO事業委託契約に基づき、省エネルギー化の効果を確認した。 【光熱水費】 削減目標 7,455,021円 実績 8,828,483円 達成率118% 【一次エネルギー】 削減目標 1,874,372MJ 実績1,988,132MJ 達成率106% 【CO2】 削減目標 87,405kg-CO2 実績95,293kg-CO2 達成率109% (数値3月分の水道料金実績について、令和6年度の3月実績が5月20日現在未確定のため、令和5年度3月実績値を基に算出。)																		
事業の財源		決算額 ※合算	15,599千円	国庫支出金	0千円	府支出金	0千円	市債	10,700千円	その他	0千円	決算書ページ	204ページ	一般財源	4,899千円					
職員数/人件費		正職員	0.00人	正職員以外の その他職員	1.00人															

令和8年度実施計画
⇒ 令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容		<成果・課題> ESCO事業委託契約に基づく削減目標は達成できた。一方で、令和5年度にESCO事業及び乳幼児の遊びの広場の改修を終え、令和6年4月に乳幼児の遊びの広場がオープンし、年間延べ35,769人が利用、賑わい創出効果があり来場者が増加した。 なお、来場者の増加及び休館日が令和6年度から年末年始のみになったことにより、施設全体のエネルギー消費量も増加する中、省エネルギー化に寄与した。 施設として脱炭素化へのハードルも高まり、更なる省エネルギー化が求められる状況であった。 今後も導入した設備の効率運転実施に注力しエネルギー削減維持を図っていく。		Check 3		令和7年度の改善の取組		Action 4		令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考	
		<改善内容> 引き続き包括的エネルギー管理計画に基づく計測検証を実施する。また、設備運転状況の把握分析を行いつつ、施設来場者の環境ニーズにも配慮し、適正なエネルギー管理に努め、光熱費の削減に努力する。				事業の方向性		事業の方向性と取組の内容					
						1 現状維持		○		さらなる、エネルギー削減・経費削減につながるよう、設備点検や補修を実施し改良に努める。			
						2 見直して継続							
						重点化							
						手段改善							
						効率化(コストダウン)							
						規模縮小							
						事業統合							
						3 休止・廃止							
						4 完了							

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	3	『くらし』を守る・快適にする	施策に関連するSDGs										①道路環境の整備 ◇拠点となる市役所や駅周辺において、安全で快適な徒歩・自転車・自動車の移動環境の確保を図ります。 ◇拠点間及び地域間をアクセスしやすい道路ネットワークの形成に取り組みます。 ◇ICTやAI等の新技術を活用し、メリハリの効いた道路メンテナンスを実施します。 ②多様な交通手段の利用・導入促進 ◇コミュニティバスについて、利用者の意見を踏まえ、路線の見直しを行うとともに、乗車割引制度の拡充を検討します。 ◇小型バス等を活用したデマンド型交通やカーシェアリングサービス等、多様な交通手段の導入を検討します。 ◇拠点間を連携する交通手段の一つとして、自転車ネットワークの形成を図ります。 ③広域ネットワークの構築 ◇近隣府県及び市町村と連携、協力し、関西国際空港を中心とした広域アクセス網の早期整備を求める要望活動を促進します。 ◇リスクマネジメントの観点から関西国際空港への代替アクセスとなる南ルートの早期実現を訴え、実現要望及び広報活動を積極的に展開します。 ◇紀北地域や広域拠点地域との連携を強化する広域幹線道路の整備を促進します。
施策	14	道路・交通											
目指すまちの姿	主要拠点にアクセスしやすい交通網が整備され、誰もが快適・安全に移動しやすいまち 様々な拠点に行きやすく、市民生活に身近な道路の計画的な整備や、地域の特性に合った公共交通の維持・発展により、誰もが快適・安全に移動できるまちづくりに取り組みます。												
施策に関する成果指標	指標項目		基準値 (R3)				目標値 (R14)				備考		
	コミュニティバス利用者数		133千人				158千人						
	進捗状況												
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考	
	目標	154	156	156	156	158	158	158	158	158	158	令和4年度には、大幅な運行経路の見直しやバス停の追加、名称変更などが行われ、これにより利用者の利便性が大幅に向上しました。これらの変更により、利用者の中で浸透しており、その効果が広く認識されています。	
実績	169	180.2											
達成率	109.7%	115.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
達成度	A	A											
掲載事業一覧【所幹部】												所管部局評価	
3-14-① 道路維持管理事業【都市整備部】 3-14-① 道路新設改良事業【都市整備部】 3-14-① 砂川桜井線新設事業【都市整備部】 3-14-① 信達榊井線改良事業【都市整備部】 3-14-② コミュニティバス運行事業【市民生活環境部】												【都市整備部】 取組① バリアフリー化促進のため、市役所周辺において、歩道の改良工事を実施する。 道路ネットワークの形成に資する、砂川桜井線の整備事業を推進する。 将来にわたり道路空間の安全・安心を確保するため、官民連携によるメンテナンス手法の導入を図る。 【市民生活環境部】 取組② 令和4年4月にさわやかバスの大幅な運行経路の見直しを行い、利便性が向上し市民から喜ばれています。 令和6年度には、コミュニティバスの運営以来最多(180,150人)の利用者数でありました。 今後、予想される人口減少やモータリゼーションの進展などによる公共交通の利用者数の減少を踏まえて、地域公共交通の拡充やあり方について検討する必要と考えます。	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 14 道路・交通		新規	担当課名	道路課		指標名 整備完了箇所数										備考			
○ 主な取組 ① 道路環境の整備		継続	○	会計名	一般会計		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名 道路新設改良事業		ソフト	○	款項目	7	2	5	目標	1	1	1	1	1	1	1	1	1		箇所
<事業概要> 利用者の利便性や安全性の向上のため、生活道路の新設や拡幅を行います。		ハード	○	細目	01-道路新設改良事業		実績	2	1										
事業に関連するSDGs		市単独		(関係法令・市条例・計画等)		達成率	200.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
道路法						達成度	A	A											

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 (年次計画) (実績)		1. 道路改良工事 信達榊井線改良工事(榊井二丁目) 牧野山手線改良工事 市場長慶寺砂川線改良(委託) 2. 設計業務 砂川駅構内の池線に伴う概略設計(JR委託) 新家駅高野別所線測量設計 3. 用地買収 下村大口線(1筆)														
事業の財源		決算額 ※合算	国庫支出金	29,033千円												
		65,951千円	府支出金	0千円												
			市債	26,200千円												
			その他	0千円												
		決算書ページ	271ページ	一般財源	10,718千円											
職員数/人件費		正職員	0.40人	正職員以外の その他職員	0.00人											

令和8年度 実施計画
⇒ 令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

事務事業の改善内容		令和7年度の改善の取組		Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考
<成果・課題> 成果 砂川駅構内の池線に伴う詳細設計はJRとの概略設計の協議結果により、事業化を見直した。 その他事業については、ほぼ計画通り実施することができた。 課題 今後実施すべき事業が相当数あるが、交付金の割り当てに限界があることや、人件費や資材高騰により事業費が増大し、事業推進の妨げとなっており、工夫が必要である。		<改善内容> 整備効果の高い箇所の選定を行い、新工法を活用するなど常にコスト削減を意識した事業監理に努める。		1 現状維持	事業の方向性 生活道路の整備については、市民生活の安全と安心に直結しており、引き続き市民のニーズに応えるべく、事業を推進する。		
Check 3				2 見直して継続			
				重点化			
				手段改善	○		
				効率化(コストダウン)			
				規模縮小			
				事業統合			
				3 休止・廃止			
				4 完了			

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする ○ 施策 14 道路・交通 ○ 主な取組 ① 道路環境の整備		事業区分 新規 <input type="checkbox"/> 担当課名 道路課 継続 <input type="checkbox"/> 会計名 一般会計 ソフト <input type="checkbox"/> 予算 款項目 7 4 6 ハード <input type="checkbox"/> 細目 01-砂川樫井線新設事業 市単独 <input type="checkbox"/> (関係法令・市条例・計画等) 都市計画法		事務事業に関する活動指標 指標名 整備率(%) 備考 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 目標 42 62 70 93 96 99 100 / % 実績 56 62 / 達成率 133.3% 100.0% 0.0% 0.0% / 達成度 A A /										
事務事業名 砂川樫井線新設事業 事業に関連するSDGs		<事業概要> 和泉砂川駅から榎井大苗代新家線を結ぶ幹線道路を整備することで、利用者の利便性を向上させるとともに、円滑な交通を促します。												
令和6年度 事務事業実績 Do 2														
主な事業内容 1. 道路築造工事 ・新家川橋梁下部工事 (河川改修、橋台設置等) ・柳谷川橋梁上部工事 (橋桁架設、床版設置、高欄設置、舗装等) ・砂川工区の一方通行化に係る工事 2. 測量設計業務 ・交差点詳細設計 3. 用地買収 ・道路新設に係る用地買収(UR)		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定												
事業の財源 決算額 ※合算 404,396千円 決算書ページ 280・281 ページ		国庫支出金 210,884千円 府支出金 79,795千円 市債 88,800千円 その他 0千円 一般財源 24,917千円												
職員数/人件費 正職員 0.50人 正職員以外の その他職員 0.00人 2,432千円														

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価																	
事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> 成果 道路事業に関連する技術的に困難な河川改修工事を完了させることができた。 また、柳谷川の橋梁上部を架設することができた。 課題 供用開始に向けた、極めて密な工程管理が必要である。 国庫補助金の確保に努める必要がある。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 国庫補助金を確保するため、本省(国土交通省等)要望活動に努める。		Action 4 令和8年度以降の事業の方向性と取組		事業の方向性 1 現状維持 <input type="checkbox"/> 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了						事業の方向性と取組の内容 これまでの取組と同様に、供用開始に向けて遅滞の無いように、工程管理を行い、府と連携のうえ事業完了に努める。		備考	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 14 道路・交通		新規		担当課名	道路課		指標名 整備率(%)												備考
○ 主な取組 ① 道路環境の整備		継続	○	会計名	一般会計		R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位												
事務事業名	信達榊井線改良事業	ソフト		予算	款項目	7 4 6	目標 95 95 95 96 96 96 97 97 97 98 %												
事業に関連するSDGs		ハード	○	細目	02-信達榊井線改良事業		実績 95 95												
<事業概要> 内陸部とりんくうタウンを結ぶ幹線道路を整備(道路拡幅、歩道のバリアフリー化)することで、利用者の利便性を向上させるとともに、円滑な交通を促します。		市単独		(関係法令・市条例・計画等)		達成率 100.0% 100.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0%													
		都市計画法		達成度 A A															

令和5年度 事務事業実績 Do 2 実施計画 Plan 1

主な事業内容		1. 委託業務 ・物件調査修正業務(補償の再算定業務)		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定													
事業の財源		決算額	2,589千円	国庫支出金	1,349千円												
				府支出金	0千円												
				市債	900千円												
				その他	0千円												
		決算書ページ	281ページ	一般財源	340千円												
職員数/人件費		正職員	0.05人	正職員以外の その他職員	0.00人	452千円											

評価

方向性

令和5年度 事務事業評価

事務事業の改善内容	<成果・課題> 成果 事業認可(8年間の期間延長)を取得した。 課題 他事業の事業費が増大しており、すぐに着手できない状況である。	令和7年度の改善の取組	Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考
		<改善内容> 用地測量を行い、迅速な用地買収に備える。	事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	事業の方向性と取組の内容 本路線は市の幹線道路であるが、歩道が狭くまた高低差もあることから、特に車いすが通行しづらく、バリアフリーの観点から、引き続き着実に事業を実施していく必要がある。今後、多額な費用を要する砂川榊井線の事業完了にあわせて、本事業にシフトしていく。		

Check 3

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標													
○ 施策 14 道路・交通		新規		担当課名	泉南市コミュニティバス運行に関する利用者数												備考
○ 主な取組 ② 多様な交通手段の利用・導入促進		継続	○	会計名	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名	コミュニティバス運行事業	ソフト	○	款項目	目標	154	156	156	156	158	158	158	158	158	千人		
<事業概要> 市内公共施設を中心に市民の生活交通や交通弱者に対する交通手段の確保を図る。		ハード		細目	実績	169	180										
9 社会福祉 11 国土交通		市単独	○	03-コミュニティバス運行事業	達成率	109.7%	115.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
		(関係法令・市条例・計画等)			達成度	A	A										

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容	バス会社との5年間協定に基づき、運行経路の見直し、バス停の新設および名称変更、主要駅における上屋や植樹の設置、新規バス車両の導入などを行い、市民の移動環境の改善を図った。		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定													
	その結果、令和6年度には、泉南市全体で人口が減少傾向にある中においても、バスの乗車人数が当初設定した目標を大きく上回る成果を上げており、本施策が公共交通の利用促進と地域の移動手段の確保に大きく寄与した。															
事業の財源	決算額	国庫支出金	0千円													
	46,392千円	府支出金	0千円													
		市債	0千円													
		その他	0千円													
決算書ページ	268ページ	一般財源	46,392千円													
職員数/人件費	正職員	1.00人	正職員以外の その他職員	0.00人	9,045千円											


評価

方向性


令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容	<成果・課題> 地域間での利用率に差がみられるため、継続的な利用実態の把握と市民の声のフィードバックに基づく運行内容の見直し、さらなる周知・利用促進策が求められる。	令和7年度の改善の取組	Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組		備考
	Check 3	<改善内容> 令和6年度より、バス運賃割引証の申請において、インターネットを活用した「スマート申請」を導入し、申請手続きの利便性向上を図ったが、現時点では利用者が少なく、制度の認知が十分に進んでいない状況にある。そのため、今後はスマート申請の存在や利用方法について、広報紙やウェブサイト、窓口などあらゆる手段を通じて積極的に周知を図るとともに、運賃割引制度そのものについても改めて情報発信を強化する。		事業の方向性	事業の方向性と取組の内容	
				1 現状維持	○	令和9年度に予定されているバス運行内容の変更協議に向けて、市民の移動環境をより良くするため、以下の取組により、コミュニティバスの運行体制の見直しを検討する。これらの取組を通じて、市民の声を丁寧に反映しながら、持続可能で利用しやすい公共交通環境の整備を進めていく。 ・運行経路の見直し ・公共交通機関との接続性の向上 ・地域全体の交通ネットワークの構築
				2 見直して継続		
				重点化		
				手段改善		
				効率化(コストダウン)		
				規模縮小		
				事業統合		
				3 休止・廃止		
				4 完了		

第6次泉南市総合計画 施策の概要

分野別政策	3	『くらし』を守る・快適にする	施策に関連するSDGs				①下水道の整備 ◇下水道施設の計画的な維持管理と更新を行うとともに、効率的な下水道事業を進めます。 ◇下水道使用料の定期的な見直しや下水道普及率の向上を図り、安定的な運営を行います。 ※水道事業については、平成31年4月から大阪府広域水道企業団に統合されました。								
施策	15	下水道・生活環境・住まい													
目指すまちの姿	地域特性をいかした土地利用が促進され、自然環境とも調和した魅力的なまちなみを有し、多様なニーズに対応した快適で住みやすいまち 下水道等、生活基盤の強化や維持管理を計画的・効率的に進めるとともに、計画的な土地利用により、自然環境と調和しつつ、利便性が高く魅力あるまちづくりに取り組みます。														
施策に関する成果指標	指標項目		基準値 (R3)	目標値 (R14)	備考	②都市再生の推進 ◇コンパクト・プラス・ネットワーク(地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくり)の考え方にに基づき、まちづくりを推進します。 ◇農地等の有効活用を図るため、適切な土地利用の転換等を促進します。 ◇公園の再編・集約化やバリアフリー化等、公園の魅力向上を図ります。 ◇拠点集約型と幹線道路沿道型の土地利用を地域の特性に合わせて促進します。 ◇公的不動産の有効活用や公民連携を推進し、多様なニーズに対応した都市再生を推進します。									
	拠点徒歩圏の新案件数の割合		60%	80%	拠点徒歩圏建築確認数/全建築確認数										
	進捗状況														
			R5	R6	R7			R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	備考
	目標	62	64	66	68			70	72	74	76	78	80		
	実績	62	65.0												
達成率	100%	101.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
達成度	A	A													
掲載事業一覧【所幹部】						所管部局評価									
3-15-① 公共下水道整備事業【都市整備部】 3-15-② 双子川浄苑施設建替事業【市民生活環境部】 3-15-② バリアフリー化推進事業【都市整備部】 3-15-② 公園緑地等維持管理事業【都市整備部】 3-15-③ 市営住宅改修事業【都市整備部】 3-15-③ 市営住宅建替事業【都市整備部】 3-15-③ 空家等対策事業【都市整備部】						【都市整備部】 取組① ストックマネジメント計画に基づいた管渠の点検調査、大里川ポンプ場水門改築に係る実施設計を行った。今後も下水道施設の老朽化対策を計画的に行っていく。 普及率については、前年度比0.3ポイントの伸びとなり、引き続き計画的・継続的な面整備を実施する。 取組② バリアフリー化推進事業においては、令和6年度に岡田浦駅周辺地区バリアフリー基本構想を策定、令和7年度には榊井駅周辺地区の見直しを予定しており引き続きバリアフリー化を推進していく。 取組③ 長寿命計画に基づき令和7年には度前畑1号棟外壁改修工事を行い、令和8年度前畑A,B棟外壁改修工事を目指し設計業務を行う。また、建て替え事業として令和8年度竣工を目指し前畑C号棟着手予定。 空家等対策事業としては引き続き管理不全な空家による周辺の住環境への悪影響をなくし、保安上危険な状態にある空家を減らすことで、住民の安全の確保を目指す。 【市民生活環境部】 取組② 令和6年度の循環型社会形成推進地域計画等の策定を受け、環境省の交付金により計画区域の測量、地質調査、土壌調査及び施設基本計画策定の委託発注を行い事業推進を図る。									

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標												
○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい		新規		担当課名	下水道課					指標名 公共下水道普及率【下水道供用開始工事済区域内人口(人)／行政人口(人)】					備考	
○ 主な取組 ① 下水道の整備		継続	○	予算	会計名	下水道事業会計					R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位					計画的・継続的な管渠整備の実施による
事務事業名 公共下水道整備事業		ソフト			款項目	4	1	1	目標			62.4 62.6 63.2 63.3 63.5 64.0 64.5 64.9 65.4 65.9 %				
事業に関連するSDGs		ハード	○	細目						実績						
<事業概要> 公共下水道の整備により、生活環境の改善、海や河川における水質汚濁防止に努める。		市単独		(関係法令・市条例・計画等)					達成率							
		下水道法							達成度					A A		

令和6年度 事務事業実績 Do 2

主な事業内容 1 公共下水道整備事業 ・下水道污水管渠の布設 整備延長:384.24m(樽井・馬場地区) ・汚水樹の設置数 58基(樽井・馬場地区) ・泉南市下水道事業経営戦略改定 令和7年度から16年度までの収支計画を作成 ・雨天時浸水対策計画策定 流入量調査の実施		事業の財源 決算額 270,470千円 国庫支出金 64,885千円 府支出金 0千円 市債 121,600千円 その他 34,395千円 決算書ページ 一般財源 49,590千円		職員数/人件費 正職員 1.75人 正職員以外の その他職員 0.00人 16,459千円	
令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定					

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価

事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 未普及地区を整備することにより、生活環境の改善、河川等の水質保全を図ることができた。 普及率が向上する一方で、浸水被害等により市民生活に影響を及ぼす下水道施設の老朽化対策を行っていく必要がある。	令和7年度の改善の取組 <改善内容> 整備を進めることにより普及率は向上していくが、下水道施設については老朽化が進んでいるため、適切な維持管理と改築を効率的に実施していく。 将来の安定的な事業運営のため、下水道使用料改定及び広域化等を検討し、経営の健全化に取り組んでいく。	Action 4 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了	令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性と取組の内容 一般会計からの繰入金を減らせるよう、交付金等を活用するとともに、面整備については整備区域を少しずつ広げていき、優先順位等を考慮しながら整備を進めていく。また、ストックマネジメント計画に基づいた下水道施設の改築及び更新により、事業費の増加を見込んでいる。	備考

第6次泉南市総合計画 実施計画


○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標																	
○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい		新規	○	担当課名	指標名 当該年度事業実施率													備考			
○ 主な取組 ② 都市再生の推進		継続		会計名	R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位																
事務事業名	双子川浄苑施設建替事業	ソフト		款項目	4	2	2														
事業に関連するSDGs		ハード	○	細目	07-双子川浄苑施設建替事業																
<事業概要> 老朽化が著しい施設であり適切な運転・維持管理が行えるよう最低限の設備等の更新を繰り返しており、毎年度多くの予算を要しているところであるが、令和5年度に本施設について泉南市単独の建替方針が確定し、現施設の運転管理・維持管理を進めながら、令和6年度より建替への準備に着手したところである。		市単独		(関係法令・市条例・計画等)																	
		環境基本法、循環型社会形成推進基本法、廃棄物処理法、水質汚濁防止法																			
令和6年度 事務事業実績 Do 2																					
主な事業内容 下記計画について、委託発注を行い関係機関と協議の上計画通り策定を行った。 ・生活排水処理基本計画策定 ・循環型社会形成推進地域計画策定 ・費用対効果分析		令和8年度実施計画 ⇒ 令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定																			
事業の財源 決算額 7,568千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 250ページ 一般財源 7,568千円																					
職員数/人件費 正職員 0.10人 正職員以外の その他職員 1.12人 4,884千円																					

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価																					
事務事業の改善内容 Check 3		<成果・課題> ・委託を早期に発注し関係機関との協議についても第1四半期に行いスケジュールの遅れもなく成果品の納入があり終了した。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> ・令和6年度の実績を受け、予定とおり交付金により事業を行う。 ・調査等委託を4件程発注するのでスケジュール感をもって計画的な進捗を図る。		Action 4		令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了						事業の方向性と取組の内容 ・現状維持のスケジュールで取組を進める。 ・発注等において、建築設備関係であるため発注方法の見当が必要になる。 ・施設基本設計(仕様書作成等) ・生活環境影響調査 ・発注支援、発注方式検討 ・建設工事 ・工事監理業務						備考	

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標																			
○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい		新規	○	担当課名	都市政策課			指標名	当該年度事業実施率														備考
○ 主な取組 ② 都市再生の推進		継続		会計名	一般会計			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位					
事務事業名 バリアフリー化推進事業		ソフト	○		款項目	7	4		1	目標	/	100	100	100	100	100					%		
<事業概要> 施設が集積する地区において、面的・一体的なバリアフリー化を推進し、高齢者や障害者をはじめ、あらゆる人が暮らしやすいまちづくりの実現に向けた取り組みを進める。		ハード	○	細目		04-バリアフリー化推進事業			実績	/	100									/			
		市単独			(関係法令・市条例・計画等)			達成率	/	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				/					
		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律						達成度	/	A								/					
令和6年度 事務事業実績 Do 2																							
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> 岡田浦駅周辺地区バリアフリー基本構想の策定 基本構想策定等協議会の実施(3回) まち歩き・ワークショップの実施(1回) アンケート調査の実施(435/1000の回答) パブリックコメントの実施(意見1件) 																					
事業の財源		決算額		国庫支出金	2,577千円													6,965千円					
				府支出金	0千円																		
				市債	0千円																		
				その他	0千円																		
		決算書ページ	275ページ	一般財源	4,388千円																		
職員数/人件費		正職員	0.27人	正職員以外の その他職員	0.00人		2,478千円																

令和8年度 実施計画
⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定

評価



令和6年度 事務事業評価															
事務事業の改善内容		<成果・課題> 駅及び周辺施設等の現状課題について、意見・要望を取り入れ、移動等円滑化基本構想の策定を行った。今後、策定された基本構想に沿って、事業計画等を遂行するとともに、更なる移動等円滑化に取り組む。		令和7年度の改善の取組		Action 4		令和8年度以降の事業の方向性と取組				備考			
Check 3				<改善内容> 策定から10年以上経過している、樽井駅周辺地区バリアフリー基本構想について、更なる移動等円滑化のために事業の進捗状況や現状、課題の調査・整理、協議会の開催を行い、バリアフリー基本構想を改定する。				事業の方向性		事業の方向性と取組の内容					
								1 現状維持		JR和泉砂川駅・新家駅周辺地区のバリアフリー基本構想の改定に取り組み、岡田浦駅・樽井駅周辺地区についてはバリアフリー化事業に向けた関係機関との協議・調整を行う。					
								2 見直して継続							
								重点化		○					
								手段改善							
								効率化(コストダウン)							
								規模縮小							
								事業統合							
								3 休止・廃止							
								4 完了							

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標																		
○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい		新規		担当課名	住宅公園課				指標名 長寿命化対策公園数											備考		
○ 主な取組 ② 都市再生の推進		継続	○	会計名	一般会計				目標値	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	単位		
事務事業名 公園緑地等維持管理事業		ソフト	○	算	款項目	7	4	4	目標	27	18	64	6	49	4	3	31	20	-	箇所		
事業に関連するSDGs		ハード	○	細目	02-公園緑地等維持管理事業				実績	31	57											
<事業概要> 利用者が安全・安心・快適に利用できるよう公園緑地の整備・維持管理を行うとともに、地域住民の自主的な公園ボランティア活動を支援します。		市単独		(関係法令・市条例・計画等)				達成率	114.8%	316.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
		都市公園法、泉南市都市公園条例、泉南市公園施設長寿命化計画				達成度	A	A														

令和6年度 事務事業実績 Do 2													
主な事業内容 1 長寿命化対策 ・遊具等の修繕 51公園 ・公園施設改修 6公園 2 維持管理 シルバー人材センター・区・自治会・造園業者等への委託及び職員による除草、剪定、清掃等		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定											
事業の財源 決算額 74,936千円 国庫支出金 0千円 府支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 決算書ページ 278ページ 一般財源 74,936千円		職員数/人件費 正職員 0.51人 正職員以外のその他職員 1.60人 10,247千円											

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価																
事務事業の改善内容 <成果・課題> 【成果】令和3年度に策定した「泉南市公園施設長寿命化計画」に基づき、遊具の改修・更新を行った。 ・草刈機貸出件数 2件 【課題】泉南市内の数多くの公園等を管理しており、多額な維持管理費が毎年必要となっている。地域インフラ群再生戦略マネジメントにより広域連携に取り組むことを検討している。 また、自治会等に公園の管理を委託しているが、担い手の高齢化等の理由により継続が困難になりつつある。さらに各公園や緑地等の除草や樹木の剪定を計画的・効果的に実施していく必要がある。		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 令和7年度りんくう南浜公園にインクルーシブ大型遊具設置予定。 各公園等の除草・剪定業務を任期付職員2名が主業務として対応。 自治会等による公園・緑地等の管理に対し、草刈機の貸出継続。	Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 ○ 2 見直して継続 重点化 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了								事業の方向性と取組の内容 草刈等の現場体制の維持・強化を図り、市内各公園の除草・剪定業務を計画的・効率的に実施していく。 公園管理における自治会等地元との協力体制を維持するため、負担を軽減するための措置を検討していく。				備考

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標															
○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい		新規		担当課名	住宅公園課												備考		
○ 主な取組 ③ 住まいの提供		継続	○	会計名	一般会計														
事務事業名 市営住宅改修事業		ソフト		款項目	7	5	1	目標値											
事業に関連するSDGs		ハード	○	細目	03-市営住宅改修事業														
<事業概要> 長寿命化計画に基づき、市営住宅を効率的かつ効果的に活用するため、長寿命化に必要な改修事業を行います。		市単独		(関係法令・市条例・計画等)															
		公営住宅法、市営住宅等整備基準条例、泉南市営住宅長寿命化計画		指標名 当該年度事業実施率 目標 R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位 実績 100 100 達成率 100.0% 100.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 0.0% 達成度 A A															
令和6年度 事務事業実績 Do 2																			
主な事業内容		1 改修事業 ・前畑住宅1号棟外壁改修設計 ・前畑住宅1、A、B号棟外壁アスベスト含有調査												令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定					
事業の財源		決算額 1,694千円 国庫支出金 847千円 府支出金 0千円 市債 847千円 その他 0千円 決算書ページ 284ページ 一般財源 0千円																	
職員数/人件費		正職員	0.02人	正職員以外の その他職員	0.00人		181千円						方向性						

評価

令和6年度 事務事業評価														
事務事業の改善内容		<成果・課題> 長寿命化計画に基づき改修工事を行うため、設計及び調査を行った。 引き続き、改修工事は居ながら施工のため、日常生活における影響を最小限に抑えながら入居者に配慮した工事を実施する必要がある。		令和7年度の改善の取組		Action 4		令和8年度以降の事業の方向性と取組						備考
				<改善内容> 令和6年度に行った設計及び調査をもとに工事設計を行う。入居者に配慮した工事を実施する。		事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了		事業の方向性と取組の内容 安全・安心な居住環境を確保するため、施設の長寿命化に資する改修事業を計画的に実施する。						
Check 3														

第6次泉南市総合計画 実施計画

○ 分野別政策 3 『くらし』を守る・快適にする		事業区分		事務事業に関する活動指標																			
○ 施策 15 下水道・生活環境・住まい		新規		担当課名	住宅公園課		指標名 当該年度事業実施率											備考					
○ 主な取組 ③ 住まいの提供		継続	○	予算	会計名	一般会計		R5 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 単位															
事務事業名	市営住宅建替事業	ソフト			細目	04-市営住宅建替事業		目標	100	100	100	100	100										
事業に関するSDGs		ハード	○	(関係法令・市条例・計画等)		実績	100	100															
<事業概要> 未耐震棟入居者の住替えを推進するとともに、長寿命化計画に基づき未耐震棟の建替えを実施します。		市単独		公営住宅法、市営住宅整備基準条例、泉南市営住宅長寿命化計画		達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%												
		達成度 A A																					

令和6年度 事務事業実績 Do 2																						
主な事業内容 1 前畑住宅2、3、8、10号棟の建替え ・建替基本・実施設計 ・建替用地購入 ・府営前畑住宅への仮移転 2 住替え移転 ・前畑住宅内または宮本住宅内での住替え		令和8年度 実施計画 ⇒令和8年第2回定例会予算説明資料として提出予定																				
事業の財源 決算額 58,866千円 国庫支出金 25,097千円 府支出金 0千円 市債 33,769千円 その他 0千円 決算書ページ 284ページ 一般財源 0千円																						
職員数/人件費 正職員 0.38人 正職員以外の その他職員 0.16人 4,000千円																						

評価

方向性

令和6年度 事務事業評価																							
事務事業の改善内容 <成果・課題> 令和7年度から建替工事に着手するため実施設計・用地購入及び入居者の仮移転・住替えを完了した。 Check 3		令和7年度の改善の取組 <改善内容> 令和8年度新棟完成に向け工事の適正監理を行う。また、仮移転者への住まいの安全確保はもとより、新しい環境に対して安心して住まえるようサポートが必要となる。未入居者棟となった前畑2、3、8、10棟を安全面に留意して適正に管理する。		Action 4	令和8年度以降の事業の方向性と取組 事業の方向性 1 現状維持 2 見直して継続 重点化 ○ 手段改善 効率化(コストダウン) 規模縮小 事業統合 3 休止・廃止 4 完了																事業の方向性と取組の内容 新棟が令和8年度完成予定となり、本入居先の調整、手続き等が必要となる。未入居者棟となった前畑2、3、8、10棟の適正管理、除却に向けた計画を検討していく。		備考

